大域的微分方程式についてのレポート

Masaaki Yamaguchi, with my son

非対称性理論によるパリティの破れから、宇宙と異次元にはそれぞれ、重力と反重力が存在しているが、ヒッグス場の方程式に宇宙での数式を入力すると、ゼータ関数だけが出力される。対称性の仕組みから異次元が対として生成される。これに関連する CP 対称性の破れは、反粒子と粒子がそれぞれ、弦理論から結合している宇宙と異次元から、反粒子が消えたのは、結合した結果、宇宙のゼータ関数が出力されたためでもある。ヒッグス場の式から、宇宙と異次元は、それぞれ別に存在している。Ω における p 形式による外微分が、$\mathcal{L}_x(d\Omega) = d(\mathcal{L}\Omega)$ と同値により、次の方程式が成り立つ。

$$\frac{d}{df}F = e^{x\log x}$$

$$\frac{d}{df}F = F^{(f)'}$$

$$= m(x), x^{\frac{1}{2}+iy} = e^{x\log x}$$

この式からゼータ関数がガロワ拡大に導かれて、ヒッグス場の式と同値になる。

$$f(x) + g(y) \geq 2\sqrt{f(x)g(y)}$$

$$\frac{d}{df}f \geq \frac{d}{df}\int\int \frac{1}{(x\log x)^2}dx_m + \frac{d}{df}\int\int \frac{1}{(y\log y)^{\frac{1}{2}}}dy_m$$

$$\frac{d}{df}\int\int \frac{1}{(x\log x)^2}dx_m = \log(x\log x)$$

$$\frac{d}{df}\int\int \frac{1}{(y\log y)^{\frac{1}{2}}}dy_m = 2(y\log y)^{\frac{1}{2}}$$

$$\frac{d}{df}F(x_m) = \frac{\partial}{\partial f}F(x_m), \left(\int\int \frac{1}{(x\log x)^2}dx_m\right)^{(f)'}$$

$$\frac{d}{df}F(y_m) = \frac{\partial}{\partial f}F(y_m), \left(\int\int \frac{1}{(y\log y)^{\frac{1}{2}}dy_m}\right)^{(f)'}$$

$$\bigoplus \frac{\mathcal{H}\Psi}{\nabla\mathcal{L}} = \frac{1}{\frac{d}{df}F}$$

$$= \frac{d}{d\Lambda}\lambda$$

ヒッグス場の式を逆関数で求めると、世界面を切断した値を場として、張力として求められる。この値を単体分割した τ を多様体にすると、多様体の計量で超関数を正規部分群で組み合わせ多様体として、ウィークスケールによるエネルギーにこの逆関数は至る。

$$T^{\mu\nu} = G^{\mu\nu} + \frac{1}{2} g_{ij} \Lambda$$

$$f = \tau = (T^{\mu\nu})^{-1}$$

$$T^{\mu\nu} = \int \tau(x, y) dx_m dy_m$$

$$\bigoplus \left(\mathcal{H}\Psi^{\nabla}\right)^{\oplus L} = i\hbar\psi$$

$$= \bigoplus \left(i\hbar^{\nabla}\right)^{\oplus L}$$

微分幾何の量子化は、ハイゼンベルク方程式の確率振幅における、ウィークスケールによるエネルギー最小単位のエントロピー不変量でもある。ヒッグス場のエネルギーの確率振幅でもある。ヒッグス場のエネルギーが加群分解して再接続されてもいる。大域的微分方程式とも同型である。

$$F = \frac{1}{4}x^4 + C, f = x^3, e^{i\theta} = \cos\theta + i\sin\theta$$

$$F = -\cos\theta, f = \sin\theta$$

$$\frac{d}{df}F = (\frac{1}{4}x^4 + C)^{(x^3)}, \frac{d}{df}F = (-\cos\theta)^{(\sin\theta)}$$

$$(\frac{1}{4}x^4 + C)^{(x^3)} = (\frac{1}{4}x^4 + C)^{{(x^3)}'}$$

$$\frac{1}{4}(x^3)^{x^3}x + \frac{1}{4}x^4(x^x)^3 = \frac{1}{4}e^{f\log f} + \frac{1}{4}x^4(e^{x\log x})^3$$

$$\frac{d}{df}F = (-\cos\theta)^{(\sin\theta)} = (-\sin\theta)^{'(\sin\theta)}$$

$$= (f)^{'(f)} = ((f)^f)^{'}$$

$$= e^{x\log x}$$